

事業番号	02 06 03	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	移住・交流推進事業		部局 実施期間	企画振興部 H15 ~	課・室 E-mail	地域振興課 iju @ pref.nagano.lg.jp

## 1 現状と課題

本県は、雑誌等の移住ランキングで上位となるなど、移住人気県として評価が定着しており、長野県への移住者数も9年間で約2倍（H27年度：1,758人⇒R6年度：3,747人）と増加傾向にある。その強みを活かし、急速に進む人口減少の緩和策として、移住定住策の更なる推進を図る必要がある。また、ライフスタイルの多様化などの社会の変化を見据え、移住に限らず、多様に長野県と関わる人々を増やしていくことで、地域の活性化を図る必要がある。

## 2 事業目的

本県の強みや魅力をアピールし、移住人気県としてのブランド力を向上させるとともに、相談等の支援体制強化のほか、多様な関わり方の機会を提供することで、移住・二地域居住等のつながり人口（関係人口）拡大を推進し、地域の活性化や活力創出を図る。

## 3 事業目的を達成するための取組

### ①移住支援体制の強化

- ・地方への移住希望者と県内地域とのマッチングを推進するため、地方移住の相談拠点であるふるさと回帰支援センターへ相談員を配置
- ・三大都市圏及び県庁でのきめ細かな相談に応じるため「信州暮らし案内人」を配置
- ・広域的な移住・定住促進を図るため、県採用の地域おこし協力隊「信州移住コネクター」を4地域に配置

### ②信州の魅力の徹底アピール

- ・【新】信州でのリアルな暮らしの魅力を発信するため、ターゲットに「響く」効果的なサイト等の広報ツールを構築
- ・市町村や民間企業と連携し、長野県の仕事と暮らしをセットで相談できる移住相談会・セミナーを開催
- ・移住に関する包括サイトを運営し、長野県の仕事と暮らしを総合発信

### ③つながり人口の創出拡大

- ・【新】幅広い関係人口の創出とデータを踏まえた情報発信を行うため、関係人口メンバーシップ制度（仮称）を創設
- ・【拡】地方関心層に向けて、地域を訪れて交流する機会を提供し、訪問型関係人口を創出・拡大する取組を実施
- ・長野県の特色あるコンテンツを活かし「旅するように仕事をしながら暮らす」ことを体感するプログラム「信州ワーキングホリデー」を実施

## 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし －：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①	移住相談件数	件	9,389	10,846	↗	10,857	↗		11,080	／＼	三大都市圏及び県庁で対応する相談件数を設定。
②	移住イベント（相談会・フェア）参加者数	人	1,308	1,580	↗	1,806	↗		1,800	／＼	魅力的なテーマの設定や、仕事と暮らしをセットで相談できる移住フェア等を開催することで、R7と同程度の参加者数を目指す。
③	イベント参加者の長野県への関心度向上割合	%	－	－		80	－		80	／＼	イベント開催後のアンケートにおいて、長野県への関心度の向上についての問い合わせに対し「向上した」と回答した人の割合を80%以上とする 것을を目指す。

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況					目標		
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	☆移住者数	人	2022 (R4)	3,334	2023 (R5)	3,363	2024 (R6)	3,747	2027 (R9)	4,500
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	☆社会増減(2023~27年度累計)	人	2022 (R4)	－	2023 (R5)	1,763	2024 (R6)	4,424	2027 (R9)	2,700

## 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分		予算額				決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源	
R8年度	予算案		148,728		148,728	104,094	7.0
	要求		176,277		176,277	119,265	
R7年度		0	111,902	0	111,902	92,563	7.0
R6年度		0	60,349	270	60,619	52,562	60,468
要求からの 主な変更点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと回帰支援センター連携事業の、就職相談員の広報費を見直したことにより経費を減額</li> <li>・空き家利活用人材育成事業の、成果報告会の実施方法を見直したことにより経費を減額</li> <li>・信州ワーキングホリデー事業の、実施に係る宿泊費及び交通費を見直したことにより経費を減額</li> <li>・信州移住プロモーション事業の、広報ツールの一部を見直したことにより経費を減額</li> <li>・関係人口メンバーシップ制度（仮称）構築事業の、実施体制を見直したことにより経費を減額</li> <li>・信州つなぐ物語事業の、実施地域数を減らしたことにより経費を減額</li> </ul>					

事業番号	02 06 03	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	移住・交流推進事業		部局	企画振興部	課・室	地域振興課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	信州暮らし案内人の配置	21,952 千円	23,912 千円	予算案 24,983 要求 24,983 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州暮らし案内人の配置	直接	三大都市圏（東京・名古屋・大阪）及び県庁に、総合的な移住相談窓口を設置し、それぞれに相談員（信州暮らし案内人）を配置 相談員の配置 4名（東京・名古屋・大阪・県庁）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	ふるさと回帰支援センター連携事業	22,045 千円	32,929 千円	予算案 35,390 要求 35,754 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ふるさと回帰支援センターとの連携	委託	地方移住の相談拠点として機能する公益社団法人と連携し、移住希望者と県内地域とのマッチングを推進 ・東京：移住相談員 3名、就職相談員 1名の配置、資料ブース、相談専用スペースの設置、セミナーに保育士を配置 ・大阪：資料ブースの設置、出張相談の実施 相談員の配置 4名（東京）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	1,993 千円	1,993 千円	予算案 1,993 要求 1,993 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	ライフスタイルPRを通じた信州回帰推進事業	委託	長野県移住総合Webメディア「SuuHaa」を中心に、長野県で「暮らす」「働く」「つながる」といったライフ・ワークスタイルに関する記事コンテンツを制作するとともに、SNSを活用した情報発信を実施 記事コンテンツ制作数14件予定	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	空き家利活用人材育成事業	4,456 千円	4,456 千円	予算案 4,545 要求 4,754 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	空き家利活用人材育成事業	委託	移住者の住まい確保策の一環として、地域で空き家利活用に取り組む専門人材を育成するための実践的な短期研修及び滞在型長期研修を実施 育成した専門人材や地域とのネットワーク化と、空き家利活用促進の機運醸成のためのイベントを実施 2泊3日の短期研修、3ヶ月間の長期研修、イベントをそれぞれ1回開催予定	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会	3,551 千円	4,651 千円	予算案 7,063 要求 7,063 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会	負担金	県、市町村、民間事業者が参画する協議会において、オール信州による移住等の取組を展開（移住セミナー・相談会の開催、各種フェアへの参加、移住者交流会の開催、移住者捕捉のための取組など、移住関連の事業を総合的に実施） 移住セミナー16回開催、移住者交流会4回開催予定	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	県採用地域おこし協力隊による広域的移住推進体制構築事業	— 千円	27,197 千円	予算案 25,084 要求 25,084 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県採用地域おこし協力隊による広域的移住推進体制構築事業	委託	広域的に移住・定住促進に取組む県採用地域おこし協力隊（信州移住コネクター）を県内4地域に配置 イベント（セミナー・移住者交流会）をのべ20回実施予定	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
7	信州移住プロモーション事業	— 千円	— 千円	予算案 30,431 要求 41,655 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州移住プロモーション事業	委託 負担金	【新】R7年度に実施した「移住プロモーション革新会議」の報告書を基に、"若年層に向けたリアルな信州暮らし提案型広報の展開"を統一コンセプトとし、全ての移住関連プロモーションの見直しと再構築を実施 WEBサイト2件の改修、ガイドブック5,000冊作成	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
8	信州ワーキングホリデー事業	— 千円	6,953 千円	予算案 6,957 要求 9,982 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州ワーキングホリデー事業	委託	県内の特色ある仕事をしながら滞在し、さらには、地域と交流する機会を設けることで、地域に溶け込んだ「旅をするように仕事をしながら暮らす」体感プログラムを実施 プログラム実施地域10地域予定	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
9	関係人口メンバーシップ制度（仮称）構築事業	— 千円	— 千円	予算案 6,064 要求 18,097 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	関係人口メンバーシップ制度（仮称）構築事業	委託	【新】LINEを活用した関係人口メンバーシップ制度（仮称）を創設し、関与度に応じた特典を付与 データ分析に基づき個別最適化した情報発信を行う 専門アドバイザーの政策提言を踏まえ、関係人口・創出拡大のためのオンラインセミナーやフォーラムを開催 セミナーの開催3回、フォーラムの開催1回	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
10	信州つなぐ物語事業	— 千円	4,484 千円	予算案 4,571 要求 5,250 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州つなぐ物語事業	委託	【拡】首都圏の若者が、県内地域の「キーパーソン」を訪問し、長野県の魅力を体験・発信することで継続的な関係人口の増加を促進する。さらに、交流イベントを開催することで、地域との関係性を深める 実施地域数 4 地域予定	